

新聞 読んだ考えた

八戸学院光星高3年
たざわ くれな 田澤 紅奈さん



2022年3月2日付16面「原発と脱炭素」
根強い不信「再稼働少数」 世界が脱炭素
社会の実現を模索する中、欧州や米国では発
電時に二酸化炭素を出さない原発の積極的な
活用を目指す動きが出ている。東京電力福島
第1原発事故を経験した日本では原発への不
信が根強く、再稼働は少数にとどまる。

人間が破壊し続けてきた
この環境を変えていけるの
は、人間しかいないと私は
思います。だからこそ、私
は原子力発電所の再稼働は
してはいけないと考えま
す。
原子力発電に使われるウ
ランという物質は、再び燃
料として使用することので
きるリサイクル可能燃料で
あり、原子力発電自体も発
電時に二酸化炭素を排出し
ないなど、多くのメリット

原発事故のリスク考えて

があります。しかし、原子
力発電で重大な事故が起き
た時、周辺の環境や人体に
降りかかる影響は計り知れ
ません。ほんの一例ですが、
放射線量が高い地域には近
づくことも困難になり、発
電所の解体には多額の費用
と長い年月が必要になる、
というように。
原子力発電の持つ、環境
に優しいなどのメリットと
は裏腹に、事故が起きてし
まった時のリスクを最大限
考慮する必要があります。
だからこそ私は、この環境
をこれ以上破壊しないため
にも、島国である日本には
洋上風力発電などに力を入
れてほしいと思いました。